



当組合の5年後、10年後のあるべき姿（第2期）

当組合の目指す方向を示す「当組合の5年後、10年後のあるべき姿」（第2期、2026年－2035年）を策定しました。

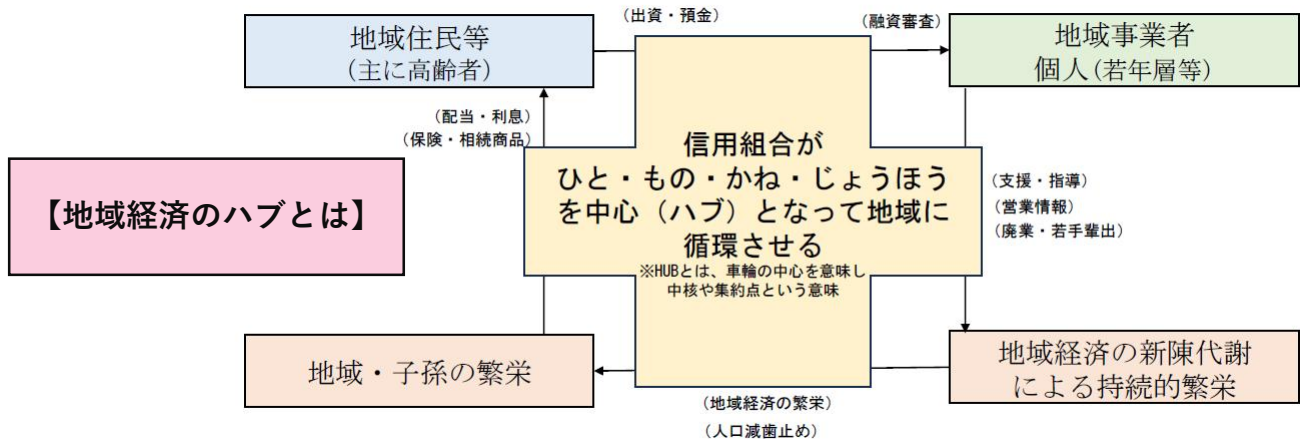
【あるべき姿（理想）】の基本コンセプト

営業エリア内の経済・暮らし・情報の「HUB（ハブ）」となり、地域の持続可能な維持・発展に寄与する

- 組合自身の経営・人材・ノウハウの強化及び財務の健全化
- 個人から事業法人までの幅広い地域全体へのアクセスと積極的な支援・関与
- 資金繰り支援のみならず、取引先の経営課題や事業再生等に深く関与し、「地域経済の持続的繁栄（活性化）」を支援
- 資金の出し手である地域住民等に、配当・利息を支払い「成果を還元」することで循環させる

中期経営計画

2026年度より、中期経営計画（2026-2028）がスタートします。本計画は「当組合の5年後、10年後のあるべき姿（第2期）」に掲げる、「営業エリア内の経済・暮らし・情報のハブ（中心）となり、地域の持続可能な維持・発展に寄与する」という基本コンセプトに基づき、私たちがひと・もの・かね・じょうほうをハブとなって地域に循環させる役割を担い、地域経済の持続的繁栄に取り組みます。



基本方針

- 1 全職員が基本コンセプト実現のために全力を尽くし、「有言実行」「自らの意思で行動」「職員間のコミュニケーション強化」を実現する。
- 2 「3つの管理（行動・顧客・目標）」を徹底し、積極的な営業活動や取引先支援を通じて、「金利のある世界」においても生き残れる本業収益の強化、財務体質の改善、構造改革の推進により「安定的な収益基盤の構築」を成し遂げる。そして、「量から質への転換」「貸出金収益で経費を賄う」を完全達成する。
- 3 公正な人事評価や職員の自己実現・自助努力を支援する制度を構築し、働き甲斐のある職場を提供することで、当組合職員の成長が地域経済の成長につながるような好循環を実現する。